



市役所屋上から富士山を望む

平成30年12月定例会は、11月27日から12月19日までの、23日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成29年度の各会計歳入歳出決算（詳細は2面に掲載）を認定するなど、29件の市長提出議案を可決・認定・同意しました。議員提出議案は、住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書など3件を可決しました。請願は1件を採択し、新たに受理した2件は継続審査としました。

また、11月28日から3日間にわたり、25人の議員から69件の一般質問がありました。

12月定例会

平成30年度一般会計補正予算
(第3号) など32議案を可決

—平成29年度各会計歳入歳出決算を認定—

新しい
年を迎えて

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。また、日ごろより市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して心より感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、大阪北部地震や北海道胆振東部地震、西日本での7月豪雨など、大きな災害が相次ぎ、各地に甚大な被害を及ぼしました。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

一方で、平昌オリンピックでは冬季五輪史上最多の13個のメダルを、またパラリンピックでは10個のメダルを獲得し、選手たちの笑顔に元気づけられました。本年は、ラグビーワールドカップの開催、翌年には、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を控え、日本全国で活力がみなぎる年になると期待が高まる所です。

さて、小平市議会におきましては、市民と議会の意見交換会を4月と10月の2回開催し、多くの市民の皆様にご参加いただきご意見をお伺いすることができました。いただいたご意見を踏まえ、各常任委員会で設定した政策課題をさらに探究し、本年の3月市議会定例会で市政への政策提言を行う予定です。

本年の4月には市議会議員選挙が予定されております。現職議員の任期も残すところわずかとなりましたが、少子高齢社会の進展に伴う課題や災害対策、家庭ごみ有料化の開始、公共施設の建てかえなど、さまざまな課題に目を向け、市民の皆様の期待に応えられるよう、議員一同、全力を尽くしますので、引き続きご指導を賜りますよう、よろしくお願いたします。

5月には天皇陛下の退位に伴い改元がされることとです。災害の少ない、平らかな時代になることを祈念しています。平成最後の新春に臨み、本年が皆様にとりまして笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

◆議員の寄附行為や時候のあいさつ状は
禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。



副議長
津本裕子



議長
滝口幸一